



Topics  
1

## 新たな本との出合いを演出する新業態 「本と珈琲 泉書茶房」Open

6月30日、東京メトロ池袋駅直結の駅ビル「Esola池袋」4階に、“Coffee Meets Books”をコンセプトとする新業態「本と珈琲 泉書茶房」がオープンしました。よくある書店に併設するカフェとは一線を画し、喫茶店の中で新たな本との出合いや読書を楽しんでもらうためのカフェ&ブックとして開発しました。

本の選書は「かもめブックス」代表でエディトリアル・ジェットセットの柳下恭平氏が、珈琲の監修はドトールコーヒー取締役の菅野眞博が担当。両者の強烈な個性とプロ魂が呼応しあい、まったく新しいコラボ業態の誕生となりました。大英図書館をイメージしたクラシックなインテリアや、袋とじされたシークレットブック、細部にまで遊び心にこだわったメニューの数々が、各種メディアやSNS等で話題を呼び、おかげさまで大好評をいただいております。

SHOP DATA	
業 態 名	本と珈琲 泉書茶房
所 在 地	東京都豊島区西池袋1-12-1 Esola池袋4F
開 店 日	2017年6月30日
面 積	109.8坪
客 席 数	全116席(テラス喫煙可)
営 業 時 間	10:30~22:00(L.O.21:30)



オーダーを受けてから一杯ずつ丁寧にサイフォンで抽出します。



オリジナルブックカバーでタイトルや著者名が伏せられた約2,000冊の本が並び書棚。



本と珈琲のセット  
「孤独」「偏愛」といったテーマが設けられた本(泉叢書)と珈琲(泉ブレンド)のセット。数量限定販売です。

Topics  
2

## コーヒー農園主の邸宅をイメージした新業態「ドトール珈琲農園」Open

10月11日、東京都世田谷区の高尾通りに、ドトールのブレンド技術を集結した新業態「ドトール珈琲農園」をオープンしました。コーヒー農園主の邸宅に招かれたような上質な空間で、心ゆくまでコーヒーの味わいを愉しむ—そんな空間をイメージして、店内は4つのエリアにゾーニングしています。邸宅のエントランスにあたる開放的な空間の「テラスエリア」。農園の中のダイニングルームをイメージした「ファームエリア」。暖炉や豪華なインテリアで装飾された「ゴージャスエリア」。お子様やペット連れの方が公園代わりに寛げる「パークエリア」。さまざまなシーンによって、お使いいただけます。

コーヒーはすべてスペシャルティコーヒー豆を使用。豆本来の個性や味わいを最大限に引き出すため、焙煎度合いやブレンド技術を使い分けた4種のブレンドをご用意し、サイフォン抽出で提供しています。

SHOP DATA	
業 態 名	ドトール珈琲農園
所 在 地	東京都世田谷区鎌田4-17-18
開 店 日	2017年10月11日
面 積	90.7坪
客 席 数	全112席(うち喫煙20席)
営 業 時 間	7:30~22:00(L.O.21:30)



コーヒー豆は100gから量り売りもしています。



エスプレッソでココをプラスした「農園のビーフカレー」等、フードメニューも充実。



株主優待制度のご案内		
優待品 株主ご優待カード ドトールコーヒーショップ、エクセルシオール カフェ、 カフェ レクセル、ル・カフェ ドトールにてご利用いただけます。		
100株以上 300株未満	300株以上 500株未満	500株以上
1,000円分	3,000円分	5,000円分
対象株主と贈呈時期 毎年2月末日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様を対象とさせていただきます。毎年5月末から6月の贈呈を予定しております。		

株主メモ	
事 業 年 度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定 時 株 主 総 会	毎年5月に開催します。
基 準 日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日 中間配当金 8月31日 そのほか株主総会を開催する必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324(フリーダイヤル) (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
公告掲載方法	電子公告により行います。(ただし、電子公告によることのできない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)
電子公告アドレス	<a href="http://www.dnh.co.jp/ir/koukoku/index.html">http://www.dnh.co.jp/ir/koukoku/index.html</a>

株式会社ドトール・日レスホールディングス  
URL <http://www.dnh.co.jp>  
本社 東京都渋谷区猿樂町10番11号  
TEL 03-5459-9178(代表)



# DNREPORT Vol.19

株式会社ドトール・日レスホールディングス  
2018年2月期 第2四半期報告書 証券コード: 3087

## ●株主の皆様へ

グループのノウハウを結集し  
さらなる企業価値向上へ

株主の皆様方におかれましては、平素より当社事業への格別なご支援とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（平成28年3月1日～同年8月31日）におけるわが国経済は、緩やかに拡大する世界経済を背景に、その恩恵が徐々に広がるとともに、政府・日銀による継続的な経済対策や金融政策の効果から、雇用情勢の改善をはじめとした緩やかな景気回復基調で推移しました。しかしながら、雇用環境の改善が賃金の上昇を伴わず、物価上昇の懸念もあることから、消費全般が回復する力は十分とは言えず、依然として先行き不透明な状態が継続しており、楽観視はできない状況で推移しました。

外食業界におきましても、原材料価格の上昇懸念や物流コストの上昇などにより、国内景気を下押しするリスクが存在することから、お客様の選別は一層厳しくなり、消費の動向は予断を許さない状況が継続しております。また、人手不足を背景とした人件費の上昇なども一段と高まるなど、経営環境は一層の厳しさを増しております。



代表取締役会長 大林 韶史

代表取締役社長 星野 正則

このような状況のもとで、当社グループは、「外食業界におけるエクセレント・リーディングカンパニー」の地位確立を目指し、立地を厳選してグループ全体で43店舗（直営店20店舗、加盟店21店舗、海外2店舗）を新規出店しました。

既存事業においては、積極的な新メニュー開発や新規業態の立ち上げ、顧客の嗜好にあわせグループ全体で5店舗の業態変更をしたほか、業務の効率化を推進するとともに、ブランド価値の向上を目指した改装を継続して推進するなど、事業基盤の強化に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高669億92百万円（前年同期比5.1%増）の増収、営業利益は63億34百万円（前年同期比7.3%増）、経常利益63億48百万円（前年同期比7.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益40億28百万円（前年同期比17.9%増）となりました。

当社グループでは、国内既存事業の安定成長と新業態などによるグループシナジーの創出、そして海外事業展開の拡大などによる成長加速に邁進し、グループ全体の企業価値向上を図ってまいります。株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお当社では、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つとして認識しております。当期におきましては、上期業績が計画を上回る順調な結果であったことから、その業績を勘案し、第2四半期末および期末配当金をそれぞれ15円から1円の増配を行い、年32円にすることといたしました。今後も安定かつ成長に合わせた増配ができるよう、業績向上に努める所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

## ●連結財務諸表

## 連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2017年3月1日から 2017年8月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2016年3月1日から 2016年8月31日まで
売上高	66,992	63,721
売上総利益	39,581	38,665
営業利益	6,334	5,905
経常利益	6,348	5,884
税金等調整前四半期純利益	6,159	5,625
四半期純利益	4,042	3,447
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,028	3,418

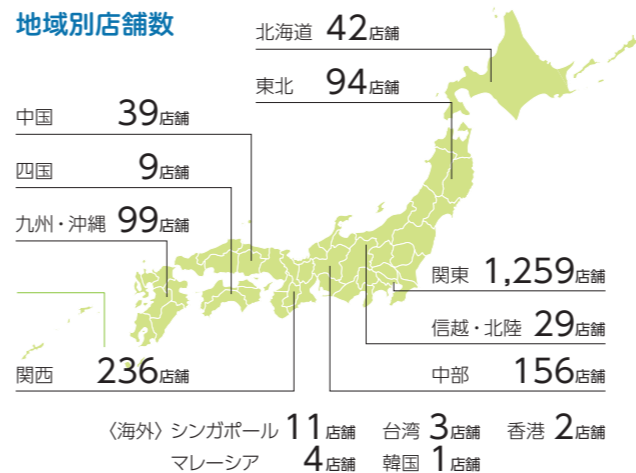
## 連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期末 2017年8月31日現在	前連結 会計年度末 2017年2月28日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	57,068	52,632
固定資産	72,124	72,210
資産合計	129,193	124,843
<b>負債の部</b>		
流動負債	19,574	18,314
固定負債	6,942	7,066
負債合計	26,516	25,381
<b>純資産の部</b>		
株主資本	102,605	99,289
その他の包括利益累計額	△33	74
非支配株主持分	105	97
純資産合計	102,677	99,461
負債及び純資産合計	129,193	124,843

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2017年3月1日から 2017年8月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2016年3月1日から 2016年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,549	3,240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,645	△2,577
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,063	△2,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,260	35,084

## ●会社データ(2017年8月31日現在)



業態別店舗数	全店	うちFC
ドトールコーヒーストア	1,126	934
星乃珈琲店	197	15
洋麺屋 五右衛門	189	1
エクセルシオール カフェ	123	27
カフェ コロラド	56	54
サンメリー	29	—
海外	21	—
その他	243	3
合計	1,984	1,034

## News 国産素材を使用したメニューが登場

「安全・安心」はもとより厳選した産地の原材料を使用した新商品の開発に取り組んでいます。日本各地の「いいもの・おいしいもの」を発掘し、価値ある商品をお客様にお届けすることで、広く社会貢献に努めてまいります。



## 会社概要

社 名 株式会社ドトール・日レスホールディングス  
 設 立 2007年10月1日  
 資 本 金 10億円  
 従 業 員 数 2,811名(連結)  
 本 社 東京都渋谷区猿楽町10番11号  
 03-5459-9178(代表)  
 事 務 所 東京都渋谷区神南一丁目10番1号  
 03-5459-9178(代表)  
 U R L http://www.dnh.co.jp

## 取締役および監査役

## ●取締役

代表取締役会長 大林 韶史  
 代表取締役社長 星野 正則  
 常 務 取 締 役 木高 毅史  
 常 務 取 締 役 稲森 六郎  
 取 締 役 橋本 邦夫  
 取 締 役 菅野 眞博  
 取 締 役 合田 知代  
 取 締 役 竹林 基哉  
 (社外)取締役 河野 雅治  
 (社外)取締役 大塚 東

## ●監査役

常 勤 監 査 役 宮林 哲夫  
 常 勤 監 査 役 川崎 嘉範  
 (社外)監査役 梶川 浩  
 (社外)監査役 浅井 廣志

## 株式の状況

発行可能株式総数 ..... 200,000,000株  
 発行済株式の総数 ..... 50,609,761株  
 株 主 数 ..... 35,259名

大株主	持株数(千株)	持株比率(%)
大林 韶史	6,759	14.23
株式会社マダム・ヒロ	3,732	7.86
株式会社バードフェザーリンク	3,300	6.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,000	4.21
鳥羽 博道	1,430	3.01

※持株比率は自己株式(3,120千株/6.16%)を控除しております。

## ●所有者別株式分布



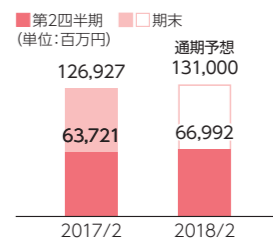
## ●連結決算ハイライト

## 第2四半期決算のポイント

- ➔ 好調な既存店と堅調な卸売事業が増収を牽引
- ➔ 人件費等のコストは、想定範囲の推移で進捗
- ➔ 計画を上回る業績の向上にあわせ、増配を実施

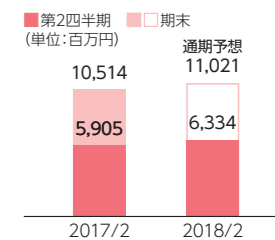
## ●売上高

66,992百万円  
 (前年同期比 5.1%増)



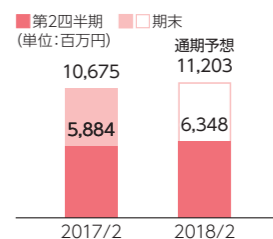
## ●営業利益

6,334百万円  
 (前年同期比 7.3%増)

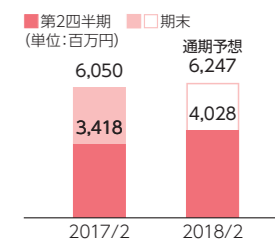


## ●経常利益

6,348百万円  
 (前年同期比 7.9%増)

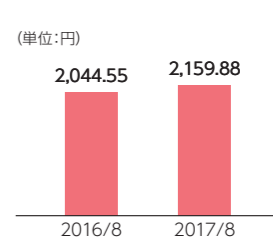
●親会社株主に帰属する  
四半期(当期)純利益

4,028百万円  
 (前年同期比 17.9%増)



## ●1株当たり純資産額

2,159.88円  
 (前年同期比 115.33円増)



## ●1株当たり四半期(当期)純利益

84.83円  
 (前年同期比 13.62円増)

